

ふりゅう
風立



ホームページ・ブログ更新中

言葉を増やしていく楽しさを～使える学力の提案～

校長 上村 勉



1月の下旬。出勤して、少し冷え込んだ早朝の誰もいない中庭を眺めました。薄く茶色がかった中庭と朝陽に照らされる校舎…。違いますね、茶色ではない。この色は「茶」ではない。緑色や黒色がかった感じ…。調べてみると、ちゃんとそうした「色」がありました。調べるって大事です。

「枯草色（かれくさいろ）」というのですね。枯色（かれいろ）とか枯野色（かれのいろ）とも言われます。江戸時代のころには、枯野を見に行く遊びが流行ったとかで、滅びゆくものを見ることを通して春の訪れを心待ちにする様子が感じられます。

ということで、この日の中庭は、枯草色の中庭だったのです。しっかりとした「冬」がやってきたことを視覚的に感じました。こうなると不思議なもので、急に春が待ち遠しくなってきました。

1年生は元気が良いです。登校してくるみなさんを生徒玄関で迎え、「おはよう」と声をかける。3年目になる私の日課ですが、昨年までと少し違うと感じるのが1年生からの挨拶の声の大きさと「明るさ」です。気持ちがいいから自然と笑顔になります。その笑顔のままで次の「おはよう」が言えます。とても嬉しくなります。ありがとう。

2年生は嬉しそうです。爽やかな初春の空気。遠くまで続く青空。今年度の後半から、中種子中学校の「顔」を3年生から受け継ぎ、重責を担った実感をもっていることでしょう。屈託のない笑顔から、凜とした表情からそれがうかがえます。とても嬉しいです。

3年生はそれぞれの「春」を迎えるために、いよいよ最終段階に入ることとなります。今月末に私立高校の一般入試が終了し、今週すでに合格発表がありました。面接練習（集団面接）も始まっています。全員、「十五の春」を笑って迎えられるように努力し続けましょう。

時に、過去、3年生の面接の練習で、緊張をほぐすために「今の気持ちを色に例えると何色ですか？」と聞いたことがあります。「青です。」「どうしてですか？」「緊張しているからです。不安を表す青が浮かびました。」とか、「赤です。やる気に満ちあふれているので、赤の感じです。」などが聞けました。まず結論をしっかりと述べ、後から理由を付け加える。面接のセオリー通りの回答ができていて、ウォーミングアップになったようでした。

色を調べるのに使われる『日本の色手帳』（日本色彩学会 監修）という本があります。1000色以上ある日本の伝統色のうち、草木や空や水、動植物などに由来する240色ほどが紹介されています。ふと、思いました。面接官に聞かれた時に、「天色（あまいろ）です。晴れ渡った澄んだ空のようだからです」なんて答えられたら格好いいだろうな。「雨上がりの植物の葉のような、濡葉色（ぬれはいろ）です。生き生きとしています」とか…。

言葉が増えると表現する力や伝える力が向上するという事は間違いないでしょう。でも、むしろ、表現したい時や伝えたい時にこそ、言葉を探して言葉を発見して欲しいと思うのです。自分の感じた色は音は味は、その言葉で表しているのか、もっと適した言葉はないのか。自分の気持ちを表す形容詞や形容動詞は、使い慣れたその言葉なのか、もっとじっくりくる言葉はないのか…。こうして手に入れる「語彙力」は、もちろん受験にも「使える学力」となっていきますからね。

ところで、国語辞典を編纂するときなどは、誰もが普通に使う（誰もが知っているだろう）単語の方が説明するのが難しくなります。映画化もされた『舟を編む』（三浦しをん 著）の中で、「君は“右”という言葉の説明できるね。」と問いかける場面がありますが、同じように「色ってなに？」と聞かれたら、みなさんならどう説明しますか。「色」という言葉をどう説明しますか。ネットなんかで検索しないで、ここは自分でじっくり考えてみてください。

「行く」と言われる1月が終了し、いよいよ「逃げる」2月に入ります。来週2月4日は立春です。明け方の空は「曙色（あけぼのいろ）」。



進路（進学）について考えよう

3年生は、私立高校の入試が終わり、3月には公立高等学校入学者選抜を控えています。進路は人によってそれぞれ。現在の成績、将来の夢、家庭の事情など、いろいろな選択肢があります。ただ、どのような進路を選択しても、その道を歩いていくのは自分自身。支えられながら今を生きている中学生の皆さんにとって選択肢は限られているように感じられますが、『今までの学びが「今」を、今の学びが「将来の自分」を形作る』ということの頭の片隅に置いてほしいと思います。

そこで、今回は進路について考えているみなさんへ「〇カツ ～あなたの〇活応援します～」（厚生労働省）を紹介します。右の二次元コードからダウンロードしてご覧ください。



食について考えよう

1月11日（土）に、三善栄養教諭を招いて、「食に関する指導」が行われました。共通のテーマとして「食事マナーの解説」、学年別のテーマとして、1年生は、「体作りと食に関する内容」、2年生は、「部活動等と食に関する内容」、3年生は「受験に向けて頭の働きを助ける食に関する内容」の話がありました。どの学年も真剣に聞き、特に3年生は三善先生に多くの質問をしていました。



食べることは、「生命の維持に必要な栄養を摂取すること」、「エネルギーや抵抗力をつける」、「コミュニケーションの場を作る」等の意味がいろいろな文献に記されています。食べることは、心身の健康に必要な行為であることはよくわかります。

様々な角度から、食について考えることは、いろいろなことに気付く機会になると思います。



農林水産省のweb マガジン a f f（あふ） 食に関する様々なテーマが満載です。

歴史について考えよう

生徒の皆さんがまだ生まれる前の前の話……。生徒の皆さんが誕生した「平成」の前に、「昭和」という時代がありました。今年、2025年は、昭和100年だそうです。この100年の日本・世界は、激動の時代でした。右の二次元コードは、朝日新聞「EduA」の記事です。近現代の歴史を振り返る機会にしてみてください。



性的マイノリティについて考えよう

自分のこと、家族のこと、友人のこと、心身に関する内容や人権に関する事例は、相談したくても相談しにくいこともあります。法務省の人権擁護機関では、「性的マイノリティに関する偏見や差別をなくそう」を強調事項として掲げ、また、令和5年3月には、企業・団体における取組を促進するとともに、社会全体の理解の増進に資するよう、性的マイノリティの方々に配慮した企業・団体の取組事例を紹介する特設サイトを開設しています。ご覧になってみてください。

法務省特設サイト「人権ライブラリー Myじんけん宣言・性的マイノリティ編」



ネットやSNSについて考えよう

「デジタルデトックス」「スマホ断食」なる言葉が出てきている世の中ですが、現代社会と切っても切り離せないネットやSNS。学校でも、タブレットは文房具と同じようなものとして活用しています。便利で無限の可能性を秘めているデジタル機器。その活用方法やマナー・モラルは間違っていないでしょうか。知らず知らずのうちに、誰かを傷つけたり、抜け出せない罠にはまっていたりしませんか。家族で確認がてら、総務省のサイトをご覧ください。

総務省『ネット&SNS よりよくつかって未来をつくろう』
ICT活用リテラシー向上プロジェクト 知っておきたい16のキーワード

